

サービック本社 団体交渉における回答

【ダイヤ改正変更】【業務体制変更】は
「**特段問題なく順調に推移している**」

【班長担務をスタッフが担当】【ゴミ担当の1名減】【班長の後点検をスタッフが担当】【16両編成のモタレカバー全取り】は
「**作業に慣れるまで若干時間を要する社員がいたが、現時点では順調に推移している**」

サービックで働くみなさん！
本社は「順調に推移している」と言っています。
本当に順調に推移していると思いますか？

9月9日、J R 東海労新幹線関西地本は、サービック本社と「ダイヤ改正変更」「業務体制変更」の申し入れに基づく団体交渉を開催しました。

地本は、「ダイヤ改正変更」「業務体制変更」が問題山積の状態で開催されていることに対して、問題解決に向けた再度の申し入れ（7月4日申し入れ）を行っていました。

第一事業所において、臨時列車対応のための超勤（残業）が実施されています。超勤は、業務指示のため正当な理由がなければ拒むことはできませんが、正当な理由を冠婚葬祭以外認めません。社員に超勤をお願いせず、社員の超勤できない事情を一切考慮せず、業務指示（命令）により、超勤を強制しています。

自宅が遠いため管理者に事情を伝えて超勤をしなかった社員に対して、あろうことか業務指示違反として「訓告」をだしています。まさしく「強制超勤」そのものです。

超勤以外にも多くの問題が山積しています。しかし、本社の回答は「順調に推移している」です。本社の不誠実な回答は「順調に推移している」だけではありません。

①班長の業務を担当したスタッフに作業手当を支給せよ。回答「そのような考えはない」

②第一事業所における契約社員などの退職の詳細を明らかにせよ。回答「今年度10名程度の退職者がいる。退職理由は明らかにしない」

③第一、鳥飼事業所の年休発給状況を明らかにせよ。回答「問題なく年休取得できている」

東海労は、これからも「あきらめず」「粘り強く」
問題解決に向けて取り組みます。